

「戦争法案反対」広く深く

5/1
五曜

「夢と未来をかけて」

学生と学者 共同行動



戦争法案に反対して、学生と学者が共同して開催した集会に参加する人たち=31日、東京都千代田区



戦争法案を必ず廃案に追い込もうと、「安全保障関連法案に反対する学生と学者の共同行動」が31日、国会周辺で行われ、学生、学者、市民が手をたすまえ、廃案までたたかいを広げる決意を確認しました。主催は、戦争法案に反対するSEALDs（シールズ=自由と民主主義のための学生緊急行動）と「安全保障関連法案に反対する学者の会」。学生と学者による画期的な共同行動です。

↓関連の場面

会場となった東京都千代田区の新防会館は第1部、第2部ともに、立ち見ができるほどの参加者であふれ、あわせて4000人がつどいました。全国各地から学生、学者がかけつけて、集会、国会請願デモ、夜の国会正門前抗議行動を展開しました。

集会では学生、学者が交互にスピーチ。SEALDs KANSAIの神戸大院生、津田研人さんは「安倍政権がつくる社会で今後の人生を生きていきたいくない」と発言。日本学術会議前会長で専修大教授の広渡清吾氏は「シ

「戦争法案を廃案」と国会議員団（手前）とシールズを交わす学生と学者たち（手後）=31日、参議院議員会館前

ールズのみなさんの活動は和なのか」と告発。同志社大学の岡野八代教授は「民主主義って何だ、と今日も国会を包囲し、廃案にしよう」とよびかけました。SEALDs TOHOKUの東北大学2年生、斎藤Uの東北大学4年生、斎藤雅史さんは「安倍政権は武力によって平和が守られるというが、それは本当の平和なのか」と告発。同志社大学の岡野八代教授は「民主主義って何だ、と今日も国会を包囲し、廃案にしよう」とよびかけました。SEALDsの明治学院大学4年生、奥田愛慕さんは「私たちに夢と変えた未来がある。この法案を止めたい」と語りました。音楽家の坂本龍一さんのメッセージが紹介されました。集会は、戦争法案の廃案と安倍内閣の退陣を強く求め、「学生と教職員の間で運動をさらに強めていくことを、ここに宣言します」とするアピールを満場一致で採択しました。